みんなで5・7・5

みんなで創るみんなのページ。すてきな作品をお待ちしています！

地蔵盆　雨に打たれて　子ら沈む　洞山千代江（今・南新保）

上がってない！　でもよく見れば　量が減り　中河　仁子（今・今津）

人気有り　高島産地　うまい米　梅村　保次（安・四津川）

三日月へ　妖精腰を　かけるよな　赤塚　光恵（安・下古賀）

名月と　お話してる　女の子　曽根しづ江（マ・沢）

赤坂に　初雪つもり　冬じたく　高岡ふじ江（マ・小荒路）

横綱は　敗（ま）けが続くと　お休みに　清水　真夫（今・今津）

ツバメ立つ　行き先道中　無事祈る　中村智英子（今・松陽台）

蛭（ひる）達は　鹿に連れられ　草むらえ　藤森みち子（朽・柏）

よーいどん！　親子で楽しむ　運動会　早田　弘子（今・今津）

菊囲む　苦労咲かした　文化祭　鈴木　京子（安・藤江）

田刈りあと　落ち穂をひろう　さぎの群れ　伊吹　忠義（マ・中庄）

七曜日　走って過ぎるよ　師走入り　平井　ちく（朽・大野）

豊作の　黄金の波に　イナゴ飛ぶ　中崎　徳子（朽・桑原）

曼珠沙華（まんじゅしゃげ）　こぞり燃え立つ　墓地の坂　岸田　金子（安・田中）

奉謡し　心さわやか　藤樹祭　福井　良（安・西万木）

秋寒し　老いに花咲く　コタツかな　粟津　秀（マ・山中）

秋の夜長　字引片手に　友に文　久保井とく（マ・寺久保）

秋晴に　コスモスかわいい　散歩道　沢井　美代（朽・岩瀬）

真夏日に　年賀状の　予約をし　西川五磋三（高・高島）

いい香り　漂う先に　木犀（もくせい）が　山本　節子（朽・雲洞谷）

今度こそ　たのみましたよ　麻生さん　高橋レイ子（高・鴨川平）

病床の　ラジオに流れる　よえもん君　高木　いま（マ・野口）

里帰り　子等に振る舞う　母の味　松山八夜夷（今・今津）

あざやかに　四季を知らせる　彼岸花　上田　えみ（マ・浦）

紅葉は　美しいかな　落葉かき　小谷　ひで（高・高島）

日が落ちて　川面に映える　名月や　川本　一男（安・北船木）

行く秋や　そぞろ寒きに　衣がえ　木津　みね（高・拝戸）

山積みの　芋づる何か　言いたそう　高澤　芳枝（今・松陽台）

コスモスは　風の吹くまま　秋の空　粟津　満子（マ・山中）

刈田跡（かりたあと）　青田となりて　風戦（そよ）ぐ　八田富美子（新・旭）

年金で　贅沢する人　けちる人　高橋　久一（新・鷺園）

道歩く　人のしぐさも　気忙しく　井上　善三（今・浜分）

光るクラゲ　ノーベル賞に　輝きて　八田　信子（高・高島）

★投稿方法

郵便またはEメールで、投稿者氏名・住所・連絡先を書き添えて投稿してください。また、応募は一人1点とし、作品や氏名には必ずふりがなをお願いします。**次回締切は12月31日**で、掲載は2月1日号・3月1日号です。

（秘書広報課）

納めて安心、あなたも私もにっこり笑顔！

あなたの納める保険料（税）が国保の運営を支える貴重な財源となりますので、必ず保険料（税）を納めてください。

滋賀県国民健康保険団体連合会

交通事故、相続、借金、離婚、不動産 etc
気軽にご相談ください

相談料 5000円（60分）
多重債務の相談は 無料
大津市中央 3-4-28
（県庁前郵便局の向かい）

ご相談受付ダイヤル
077-524-6981

弁護士法人 おうみ法律事務所
http://www.ohmi.lawyers-office.jp

有料広告

市長日記

今年の紅葉は格別でしたね。どんぐりや柿も「なり年」だったようです。

ありがとうございます。お正月が来ると高島市は満4歳。結婚から満4年と言った方がいいでしょうか。思えば生活費が2割減る中での新世帯のスタートでしたが、6つのまちが一つになり、みんなで財政危機も乗り越えてきました。ピーク時には累積債務も380億円に達する出血多量でしたが、治療が早かったことで高島市は顔に赤みが戻り3年目からは年に約20億円ずつ返済できるまでに回復しました。皆さんに忍んでいただいたお陰です。

人員削減へのご批判もありますが、皆さんからお預かりした税金を無駄遣いしないように、公務員でなければならない仕事と、公務員でなくてもよい仕事を仕分け、引き続き人件費の削減と民間雇用の拡大に繋（つな）げています。これにより生み出した財源で、負担を低く抑え福祉や子育てを支えています。変えるものは変え、守るものは守り、改めるものは素直に改め、お役所からより志の高い役所へこれからも変わっていきます。

合併への期待が大きかった分、恩恵感の乏しさを訴える多くの声を承っています。改めて説明不足と至らぬ点をお詫び申し上げ、合併の現実を見つめること、そして今ここから市民みんなで連れ合っていく覚悟をご一緒しましょう。厳しい時代へのチャレンジを意気に感じ、皆で助けあう事を喜び、本当の豊かさと安心を私達自身の手で作っていこうではありませんか。

いのちの秩序も危機に瀕（ひん）しています。生物の多様性は脅かされ、偽装や有害物質が後を絶ちません。人間が壊れ始めている？　高島の出番、農の力の出番だと思います。

※近い近い昔、このまちにも、日本のいたるところにも沢山の蛍がきれいな川の傍に群れ飛び、沢山の生き物たちも楽しく住んでいたのです。

ある頃から人間が勝手な振る舞いをするようになり、みんなが生きるバランスを壊し始めました。そして人間の心も荒（すさ）み始めました。蛍はだんだん人間と一緒に住めなくなって、魂の世界に避難するようになりました。それでも時々使者を送り、人間の心が美しく戻ってきたが、里山のはたらきは回復したかを見に来ています。人間の心と野や山や川が美しくなったら、蛍たちは帰ってこようと偵察を続けています。

高島の幾つかの場所に蛍が帰ってくるようになりました。生き物田んぼでは絶滅危惧種とまで言われているスジシマドジョウもメダカもダルマガエルも帰ってきました。いのちが帰ってくるまちです。琵琶湖のいのちを見つめる「NPO法人びわ湖トラスト」も今津に拠点を置かれました。地球と子どもたちの未来に貢献できる可能性のあるまちになってきています。滅びに向かう一方通行の歴史のなかで転回が起こり、それが行財政と良知のこころとたくさんの命の再生のタイミングが符合するとしたらこの合併はなおさら興味深いですね。感謝をこめて皆様のご多幸を祈念申し上げます。新しい年に向け達者で気張りましょうね。

海東英和　拝

※葉祥明さんの「ホタルのくる町」の原案より

【お断り】「市長日記」は、1月1日号から休ませていただきます。

チャレンジ！省エネ騎士作戦

毎日の生活の中で節電などの省エネを心がけることは、地球にやさしく家計を助けることにもなります。

このコーナーでは家庭で簡単にできる省エネを紹介します。

いろいろ試そう暮らしの中の省エネ！【廃棄編】

集積場所にごみを出せば「食の省エネ」はおしまい、と思っていませんか？

出されたごみが最終的に処理されるまでにも、エネルギーは使われています。上手な購入や調理でごみの「量」を減らすだけでなく、ごみの出し方を工夫することも省エネにつながります。

○生ごみの処理にもエネルギーが使われています

1世帯が1年間に出す生ごみの量　306kg
←
その生ごみを処理するために必要なエネルギー量　9698KJ（牛乳ビン1・25本分の原油）

○生ごみをどのように処分していますか？

自治体が回収　79%
畑・家庭菜園へ直接埋める　7%
コンポスト　4%
生ごみ処理機　1%
その他　9%

○どんな生ごみを捨てましたか？

調理くず　74%
食べ残したもの　13%
保存していたもの　13%

○1世帯が1年間に受け取るビニール袋　323枚
←
約80%をごみとして廃棄

★食べる分だけ買い、保存したら早めに食べましょう。
★容器や袋も気にして買いましょう。
★食材を使い切りましょう。
★生ごみは十分に水切りをしましょう。

◆出典：上手にいただきます食の省エネbook（財団法人／省エネルギーセンター発行）http://www.eccj.or.jp/dict/

（環境政策課）